

第2類

文学部（通信教育課程）第2類では、史学を主とした専攻領域を扱っており、所属する学生は、総合教育科目（必修外国語科目を含む）に加え、これらの専攻領域の専門教育科目を中心に学び、また他の類で扱う専攻領域の専門教育科目も横断的に学ぶことで、将来的に自らがめざす学位や卒業論文のテーマに向け、学修を進めます。

第2類に所属する学生がめざす学位の専攻分野と関係する専攻領域は次の通りです。

学士（史学）：日本史学専攻領域、東洋史学専攻領域、西洋史学専攻領域、民族学考古学専攻領域

各専攻領域で学ぶことができる内容は以下の通りです。

学士（史学）

[日本史学専攻領域]

日本史学専攻領域では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下の授業科目を取り扱う。

1. 日本史の全体像を捉えつつ、個別の時代やテーマに関する理解を深めるとともに、史料に関する基礎知識を習得するための、日本史関連科目。

[東洋史学専攻領域]

東洋史学専攻領域では、東洋史の専門的な学修に不可欠である基礎的知識や資料の収集・読解の技術、国際的な視点や幅広い学問分野の教養を身につけるための科目を取り扱う。

[西洋史学専攻領域]

西洋史学専攻領域では、古代から現代までのヨーロッパやアメリカなどいわゆる西洋世界、およびそこから強く影響を受けた地域の過去を学ぶことを通して、現代の「国際社会」の多くの側面を構成する「価値観」を理解するために十分な知識を獲得すること、そのために自ら主体的に情報を収集し、それを学問的に分析するために必要な外国語能力と学問の方法論を身につけること、また歴史学を通して現代社会を見つめる多角的な視点を得ることを目的として、以下の授業科目を取り扱う。

1. 西洋世界の過去についての概説的な知識を得て、西洋世界の過去の多様性や多重性への理解を深め、より広い文脈の中での歴史への理解を深めるための科目。
2. 歴史学の理論と方法論の基礎を学び、歴史学そのものについて考える機会をもつための科目。

[民族学考古学専攻領域]

民族学・考古学専攻領域では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下の授業科目を取り扱う。

1. 民族学と考古学の基礎的な考え方を習得するための概論科目。